

図書だより

My Favorite Books

今回は、橋 彩香 先生 です！

2024年 11、12月号

三島高等学校 図書委員会



=簡単な自己紹介をお願いします=

今年の春から三島高校に赴任しました、芸術(書道)の橋彩香です。204HRの副担任で、書道部の顧問をしています。出身は松山市で、前任校の川之江高校に勤務が決まり、2年ほど前に四国中央市に引っ越してきました。スタバが好きで、何よりも楽しい息抜きです。最近は、高校生もスタバによく行く話を聞きます。私が高校生の時は、ご褒美にしかスタバを買えなかったので…時代の流れを感じます。他にもシマエナガと掃除が好きです。よろしくお願いします。

=高校時代(大学時代)に感銘を受けた本を教えてください=

私は大学時代、スティーブン・R・コヴィーの「7つの習慣」という自己啓発本に感銘を受けました。全世界で4000万部発行されているので、皆さんも知っているかと思います。この本は、人生成功するために必要な7つの行動指針をまとめたものです。皆さんは、何か不満に思ったことを周りのせいや環境のせいにしていませんか？本の中では、自分が変われば世界が変わると言われています。また、「インサイドアウト」という言葉も出てきます。自分の内面を変化させ、自ら外へ働きかけるという意味です。私は、この本を通して、不都合なことが起きた時、人や環境のせいにするのではなく、「まずは自分が変わろう！内面の成長をしよう！」とすることができました。大学内でも、考え方を改めて生活するうちに周りも変化していきました。この本に出合えて人生が変わったと感じます。

=みなさんに読んでほしい本を教えてください=

喜多川泰さんの「賢者の書」を紹介いたします。人生に行き詰まりを感じていた時にこの本に出会い、今の自分に欠けていたものが見えてきたように感じました。10代の少年が9人の賢者と出会いながら旅をします。1人の賢者から学ぶことの意味がとても深く、心に響く本です。人生に必要なことを、主人公がストーリーの中でまとめてくれているので、ワクワクしながら楽しく読み進めていくことができます。学ぶことや気付かされることも多いです、何より前向きになれます。そして、人から何かを学ぼうとする真摯な姿勢がとても魅力的です。

喜多川泰さんはその他にも、多くの書籍を出版されています。ぜひ手に取って読んでみてください。

(喜多川さんの講演会が1月11日(土)にしこちゅ〜ホールで開催されます。)

<喜多川泰の著作一覧>

- ・運転者 ・君と会えたから
- ・「手紙屋」 ～僕の就職活動を変えた十通の手紙～
- ・「また、必ず会おう」と誰もが言った。



=三高生に一言！=

自分の高校生活を振り返ると、もう少し頑張っておけばよかったなど後悔することもあります。楽しく、毎日が充実していました。尊敬する先生と出会い、大切な仲間と時間を共にし、互いに高め合い、笑い合い、支え合った濃い3年間でした。「面倒くさい、だるい、しんどい、忙しい」というマイナスな発言や思考ではなく、「楽しい！うれしい！感動した！」といったポジティブで明るくなるような生活を送ってみてください。後者の方が、きっとすてきな人生になりますよ。

橋先生、ありがとうございました！！



2年5組図書委員のおすすめ本紹介♪



『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』 筆：ブレイディみかこ
「僕はイエローでホワイトで、ちょっとブルー」という本はイギリスに住んでいる筆者ブレイディみかこさんの息子さんの中学校入学からの一年半の日々を記したエッセイです。イギリス・ブライトン市の学校ランキング1位の小学校を卒業した後、とあるきっかけから「元底辺中学校」に入学し、通うこととなります。日本の中学校とは大きく違って、新入生によるミュージカル上演、いじめやレイシズム、喧嘩やケバいい化粧をした生徒など、かなりぶっ飛んでいて何でもありの環境です。その中で息子は、様々な困難に直面しながらも、持ち前の冷静さを発揮しながら仲間たちと成長していきます。日本に住んでいる私たちにとってもいじめや差別について考えさせられる内容となっています。



新着図書

- ・ミライの源氏物語 /山崎ナオコーラ ・宇治拾遺物語 /町田康 訳 ・人間標本 /湊かなえ
- ・ダブルマザー /辻堂ゆめ ・わたしの知る花 /町田そのこ ・耳に棲むもの /小川洋子
- ・常夏荘物語 /伊吹有喜 ・新しい恋愛 /高瀬隼子 ・藍を継ぐ海 /伊与原新
- ・小鳥とリムジン /小川糸 ・メンタル脳 /ハンセン 他



2学期末・冬休みの図書館利用案内

12月17日(火)～20日(金) 13:20まで

12月23日(月)～27日(金) 補習後 14:00まで



暖かい部屋の中でじっくりと本を読み、新たな気持ちで新年を迎えましょう！